

最貧困層のための地場の食料確保と栄養改善事業（第2期）

写真資料

事業開始準備



2014年3月5日、日本大使館において署名式を行い事業が開始した。



コミューン運営委員会や保健局、農業農村開発局のスタッフが集まり、昨年度の事業の成果及び今年度の課題に関して話し合った。

食料確保



SRIでは実施する村人数が開始当初の23倍までに膨らんでいる。6月に田植えを行い苗の分桔数は30本以上になった。



毎月4種類以上の野菜が収穫できる栄養菜園を引き続き村人が実施できるよう、フォローアップを行った。

現金収入の向上



きのこの菌を植え付ける土台作成の様子。稲藁など地元で手に入る資材で作成した。
7月に初めての収穫を行うことができた。



ウサギ飼育の様子。村で採取可能な竹を活用した手製の籠で飼育している。餌には雑草を用いる。



烏骨鶏は順調に生育している。事業後半で販売を行う予定である。



コミュニンの女性を対象にした貯蓄や財務管理研修の様子。計算が苦手な女性も研修を通じて財務管理の基礎を学ぶことができた。

保健・栄養の知識技術改善



栄養回復センターにおける栄養研修の様子。子どもの身体測定も行い、子どもの成長を確認する。



栄養価の高い離乳食の作り方を学ぶ。

家でも実践できるように、研修では調理実習を行う。



研修で調理した栄養食を子ども達に与える様子。栄養改善のためには世帯での継続的な実践が重要ある。